

第4期鎌倉市環境基本計画の策定に関する
市民意識調査
～結果報告（速報版）～

目 次

1. 第4期鎌倉市環境基本計画の策定に関する市民意識調査の概要	1
2. 市民アンケート調査結果	1
問1 性別を教えてください。(単数回答)	1
問3 お住まいのある場所を教えてください。(単数回答)	2
問4 ご世帯の人数(あなたを含めた世帯全員の人数)を教えてください。(単数回答)	2
問5 どのような家にお住まいですか。(単数回答)	2
問6 本市での居住年数を教えてください。(単数回答)	3
問7 鎌倉市の良いところはどこだと思いますか。(複数回答、最大3つまで)	3
問8 あなたは環境問題に関心がありますか。(単数回答)	4
問9 環境問題に関する情報はどこから得ることが多いですか。(複数回答)	4
問10 近年実感する、または問題だと思う気候変動の影響について教えてください。(自由回答)	5
①食への影響	5
②身体・健康への悪影響	5
③台風、洪水、土砂災害	5
④仕事や活動への影響	6
問11 あなたは下記の取組を実施していますか。(複数回答)	6
問12 環境に関する取組を行うことは難しいと思いますか。(単数回答)	7
問12-a 環境に関する取組を行うことが難しいと思う理由を教えてください。(複数回答)	7
問13 環境に関して、本市で重点的に取り組むべきだと思うことは次のうちどれですか。(複数回答、最大3つまで)	8
問14 鎌倉市は、市民や事業者のみなさまのご協力によって、リサイクル率が全国トップです。このことをご存じでしたか。(単数回答)	8
問15 鎌倉市では環境の改善に向けて以下の取組を行ってきました。知っている取組を教えてください。(複数回答)	9
問16 以下の脱炭素化に関わる設備についてご家庭で利用していますか、または利用していない場合は、今後の使用についてどう思いますか。(単数回答)	9
問17 どのような条件が整えば、脱炭素化に関わる設備の利用をより前向きに考えられますか。(複数回答)	10
問18 本市の脱炭素化やエネルギー問題とそれらの取り組みについて、関心がありますか。(単数回答)	10
問18-a 本市の脱炭素化やエネルギー問題に関心がある方にお聞きます。その理由を教えてください。(複数回答)	11
問18-b 本市の脱炭素化やエネルギー問題に関心がない方にお聞きます。その理由を教えてください。(複数回答)	11
問19 環境分野で、市が今後どのようなまちになるとよいと思いますか(自由回答)	12
問20 市の環境について日頃感じていることなど、自由にご記入ください(自由回答)	12
問21 「Liqlid」に参加して一緒に環境の未来を考えてみたいと思いますか。(単数回答)	13

本資料は令和7年(2025年)7月25日～8月10日に実施した「第4期鎌倉市環境基本計画の策定に関する市民意識調査」の結果を整理したものです。

あくまでも、速報版であり、今後の分析や調査結果の精査によって、内容が更新される可能性がございます。

1. 第4期鎌倉市環境基本計画の策定に関する市民意識調査の概要

市民のみなさまの鎌倉市の環境に関する考えや環境に関する活動への意向を把握するためにアンケート調査を実施しました。

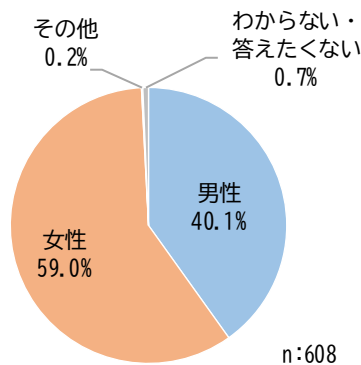
■市民意識調査の実施概要

調査対象：	市内在住、18歳以上の市民 2,000 人を無作為抽出
調査期間：	令和7年（2025年）7月25日～8月10日
調査方法：	・郵送によるアンケート調査票の配布 ・紙面での回答と郵送返信 または WEB アンケートフォームでの回答
回収数：	610 件
回収率：	30.5%

2. 市民アンケート調査結果

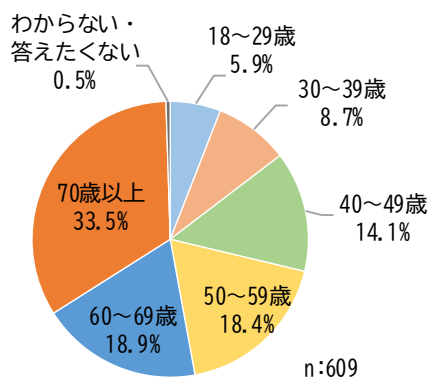
問1 性別を教えてください。（単数回答）

「男性」が40.1%、「女性」が59.0%を占めています。



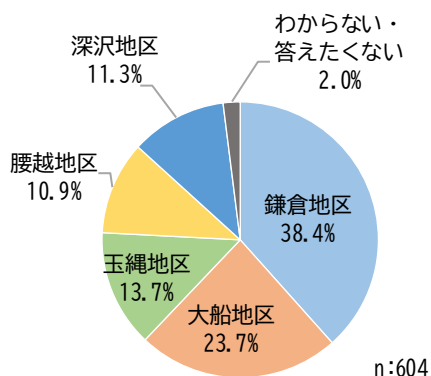
問2 年齢を教えてください。（単数回答）

年齢は「70歳以上」が33.5%と最も多く、次いで、「60～69歳」が18.9%、「50～59歳」が18.4%となっています。



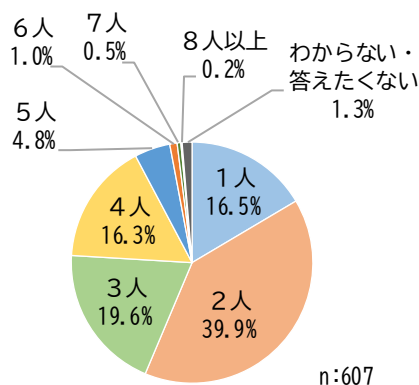
問3 お住まいのある場所を教えてください。(単数回答)

住所は「鎌倉地区」が38.4%と最も多く、次いで、「大船地区」が23.7%、「玉縄地区」が13.7%となっています。



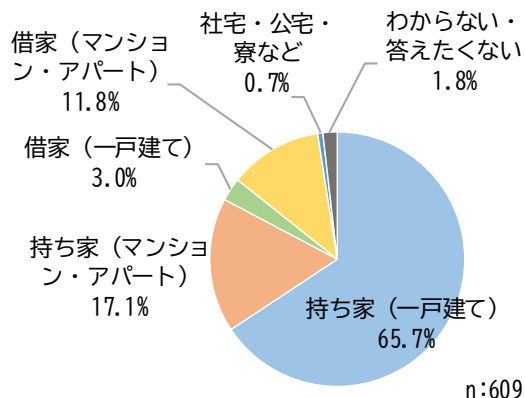
問4 ご世帯の人数（あなたを含めた世帯全員の人数）を教えてください。(単数回答)

世帯人員が「2人」の世帯が39.9%と最も多く、次いで、「3人」が19.6%、「1人」が16.5%となっています。



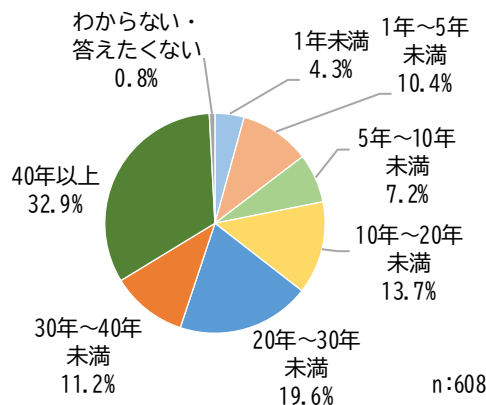
問5 どのような家にお住まいですか。(単数回答)

「持ち家（一戸建て）」にお住まいの人が65.7%と最も大きな割合を占めています。



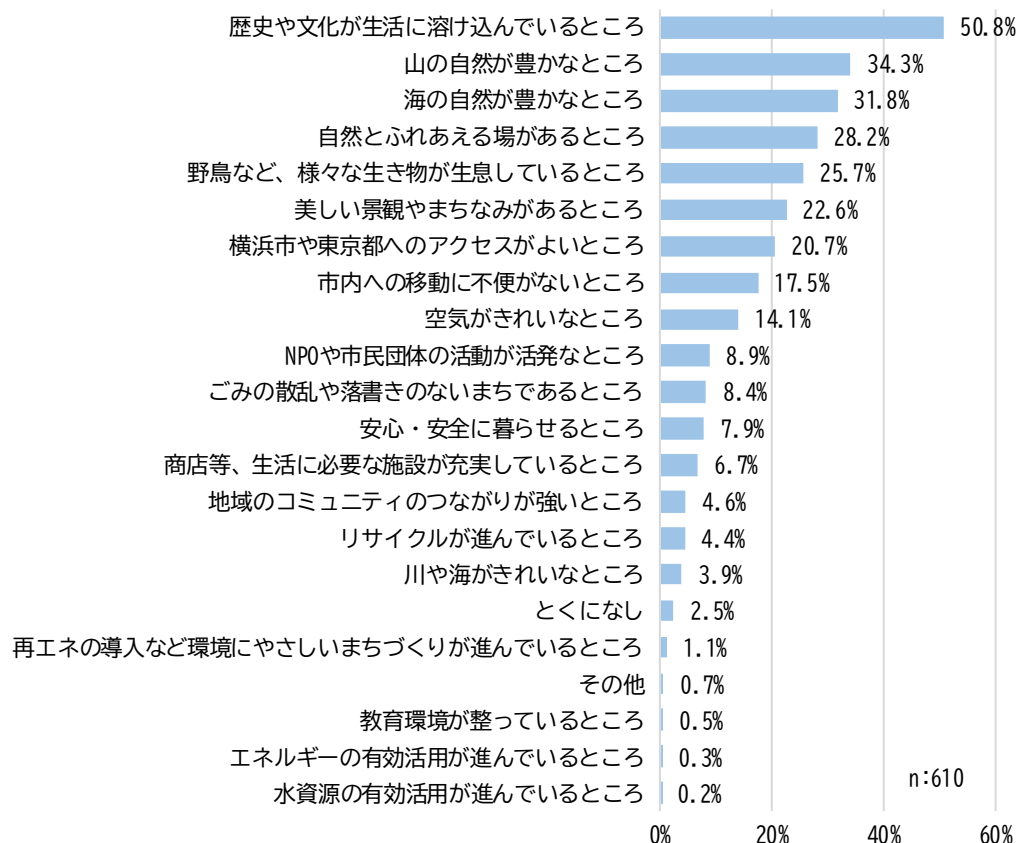
問6 本市での居住年数を教えてください。(単数回答)

居住年数は「40年以上」が32.9%と最も多く、次いで「20年～30年未満」が19.6%となっています。



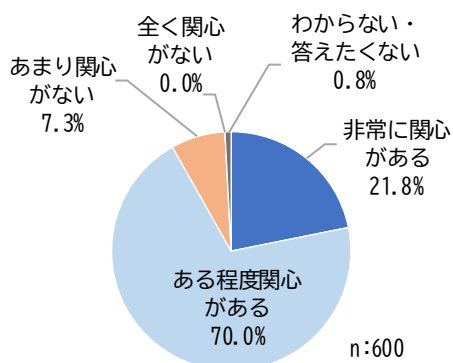
問7 鎌倉市の良いところはどこだと思いますか。(複数回答、最大3つまで)

鎌倉市の良いところとして、「歴史や文化が生活に溶け込んでいるところ」が50.8%と最も多く、次いで、「山の自然が豊かなところ」が34.3%、「海の自然が豊かなところ」が31.8%となっています。



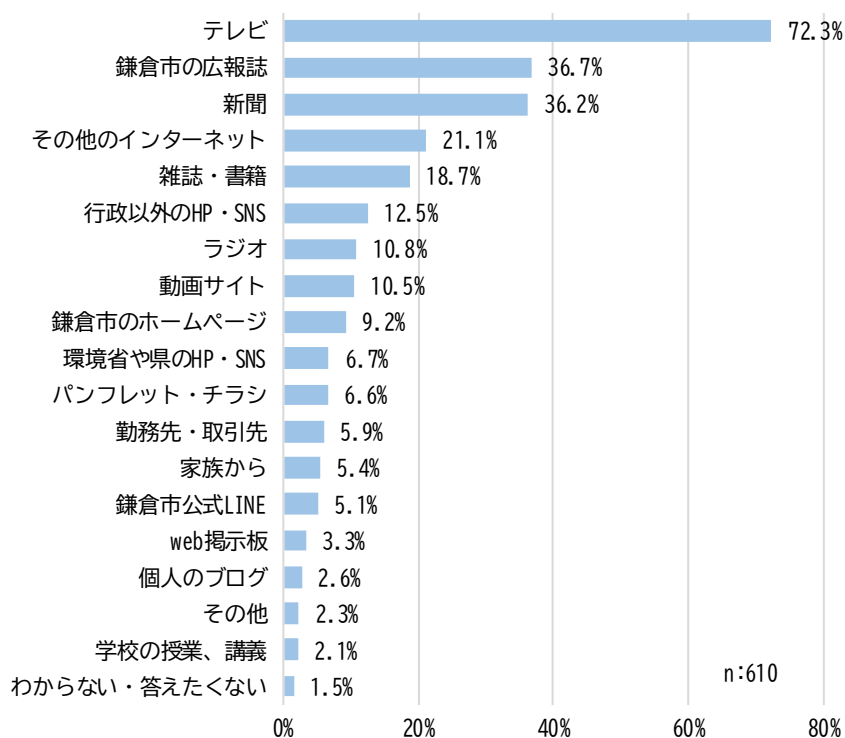
問8 あなたは環境問題に関心がありますか。(単数回答)

「非常に関心がある」が21.8%、「ある程度関心がある」が70.0%と、合わせて91.8%が関心を持っています。



問9 環境問題に関する情報はどこから得ることが多いですか。(複数回答)

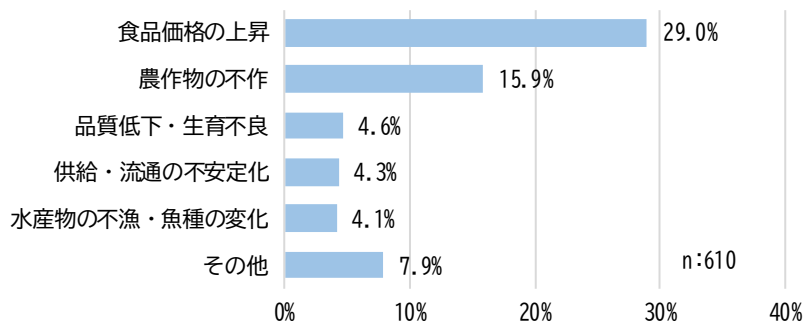
環境問題に関する情報の入手先では「テレビ」が72.3%と他のメディアに比べて、突出して多く回答されています。「鎌倉市の広報誌」は36.7%、「新聞」は36.2%から回答されています。



問 10 近年実感する、または問題だと思う気候変動の影響について教えてください。
(自由回答)

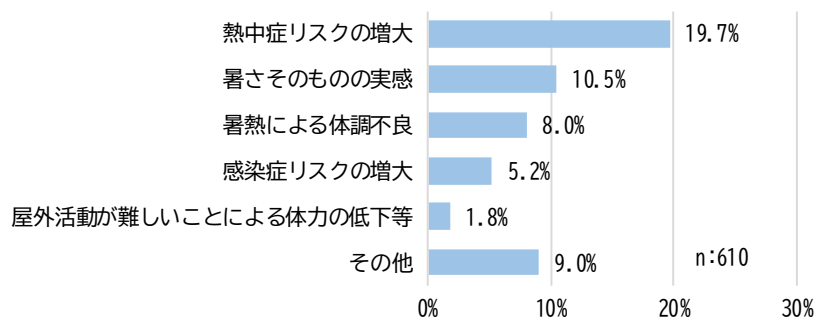
①食への影響

「食品価格の上昇」を実感しているという回答が29.0%ありました。



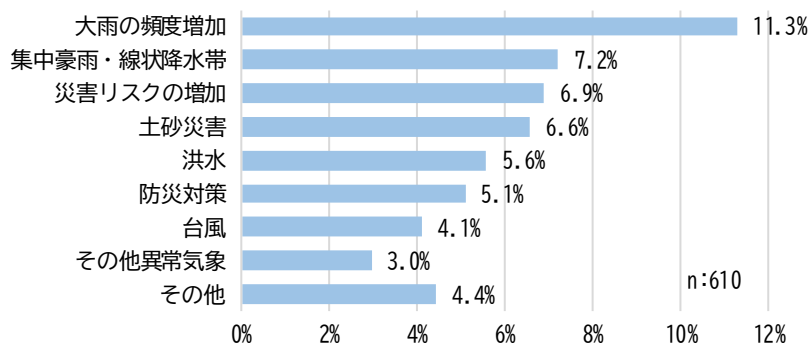
②身体・健康への悪影響

「熱中症リスクの増大」を実感・問題視している回答が19.7%ありました。



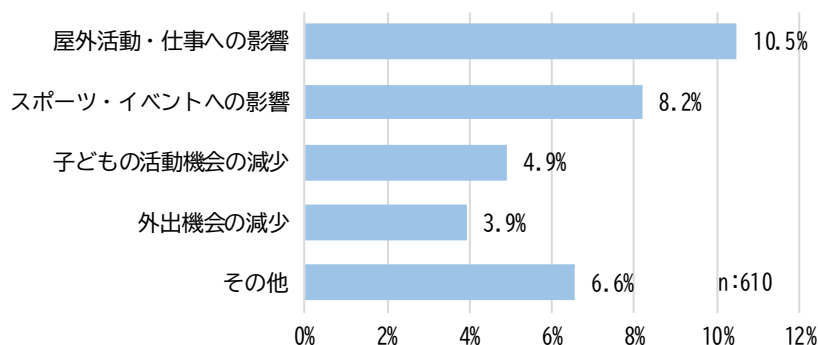
③台風、洪水、土砂災害

「大雨の頻度増加」を実感している回答が11.3%ありました。また、風水害や土砂災害に関する意見もありました。



④仕事や活動への影響

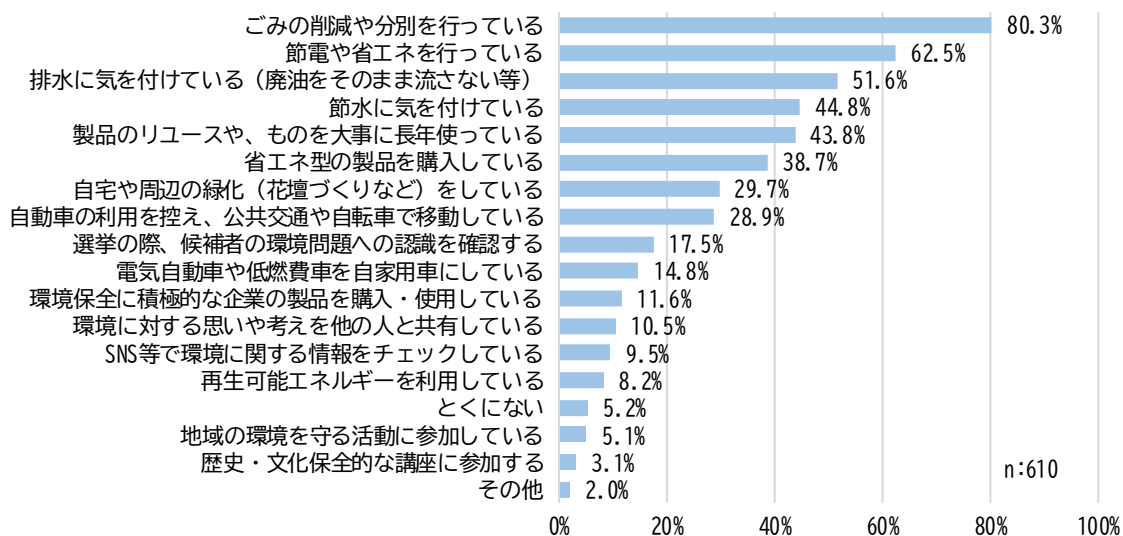
「屋外活動や仕事への影響」への不安等の回答が 10.5%ありました。「子どもの活動機会の減少」を問題視する意見もありました。



問 11 あなたは下記の取組を実施していますか。(複数回答)

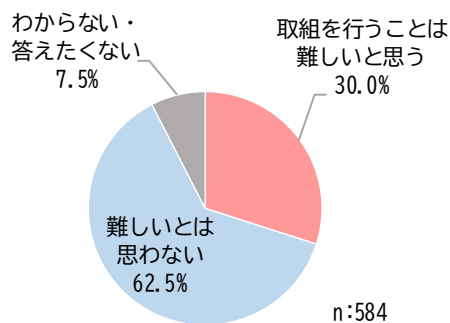
「ごみの削減や分別を行っている」が 80.3%と最も多く、次いで「節電や省エネを行っている」が 62.5%となっています。

「地域の環境を守る活動に参加している」や「歴史・文化保全的な講座に参加する」といった取組は 10%未満となっています。



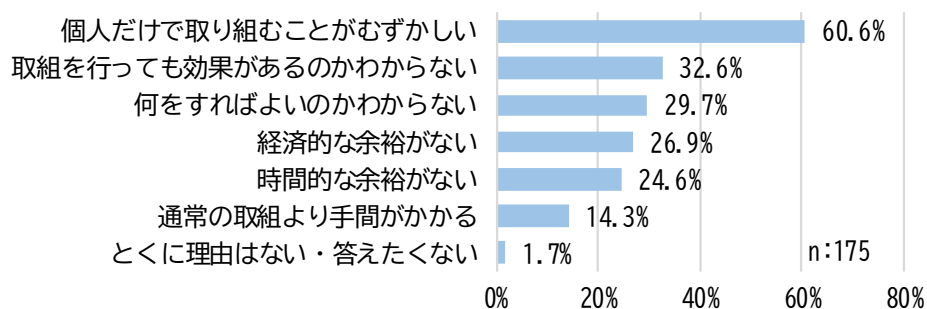
問 12 環境に関する取組を行うことは難しいと思いますか。(単数回答)

「取組を行うことは難しいと思う」が 30.0%を占めています。



問 12-a 環境に関する取組を行うことが難しいと思う理由を教えてください。(複数回答)

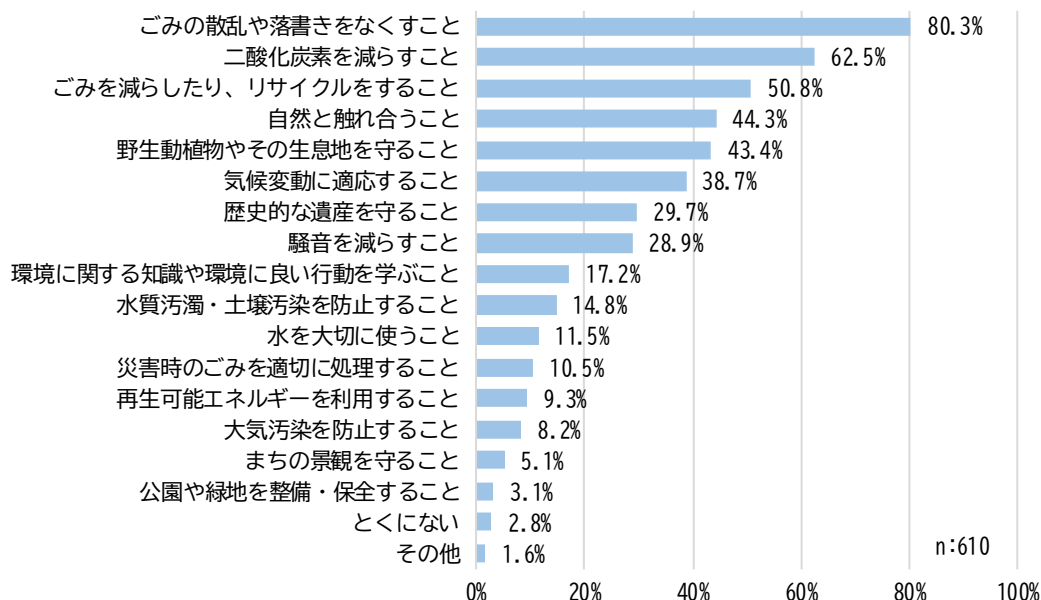
取組を行うことは難しいと思う利用では、「個人だけで取り組むことがむずかしい」が 60.6%と最も多く回答されています。



問 13 環境に関して、本市で重点的に取り組むべきだと思うことは次のうちどれですか。
(複数回答、最大3つまで)

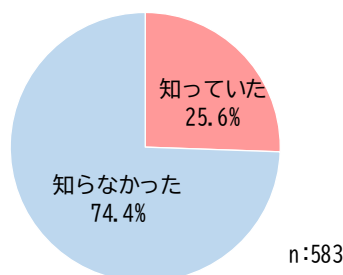
「ごみの散乱や落書きをなくすこと」が 80.3%と最も多く、次いで「二酸化炭素を減らすこと」が 62.5%から回答されています。

「自然と触れ合うこと」や「野生動植物やその生息地を守ること」も 40%強の回答があります。



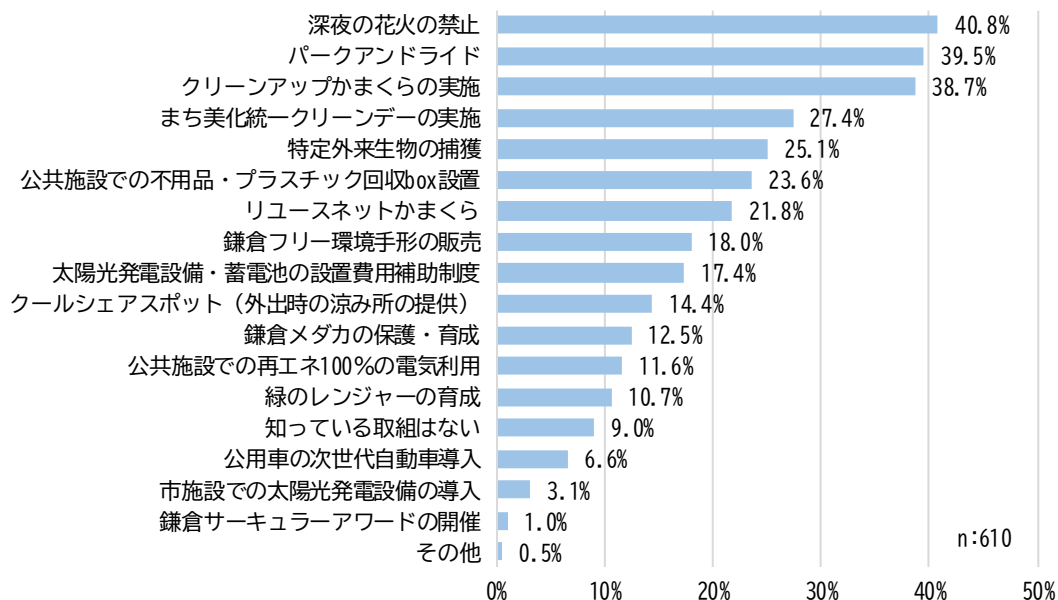
問 14 鎌倉市は、市民や事業者のみなさまのご協力によって、リサイクル率が全国トップです。このことをご存じでしたか。(単数回答)

鎌倉市が人口 10 万人以上 50 万人未満の自治体でリサイクル率がトップであることを「知っていた」人は 25.6%でした。



問 15 鎌倉市では環境の改善に向けて以下の取組を行ってきました。知っている取組を教えてください。(複数回答)

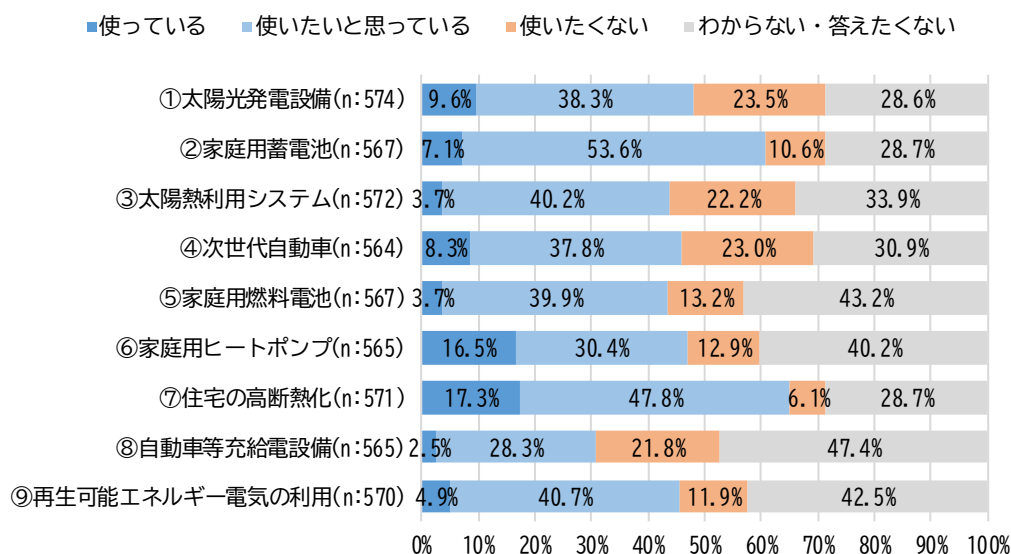
鎌倉市の環境の改善に向けた取組では「深夜の花火の禁止」や「パークアンドライド」、「クリーンアップかまぐらの実施」の認知度が高いものの、約 40%の認知率にとどまっています。



問 16 以下の脱炭素化に関わる設備についてご家庭で利用していますか、または利用していない場合は、今後の使用についてどう思いますか。(単数回答)

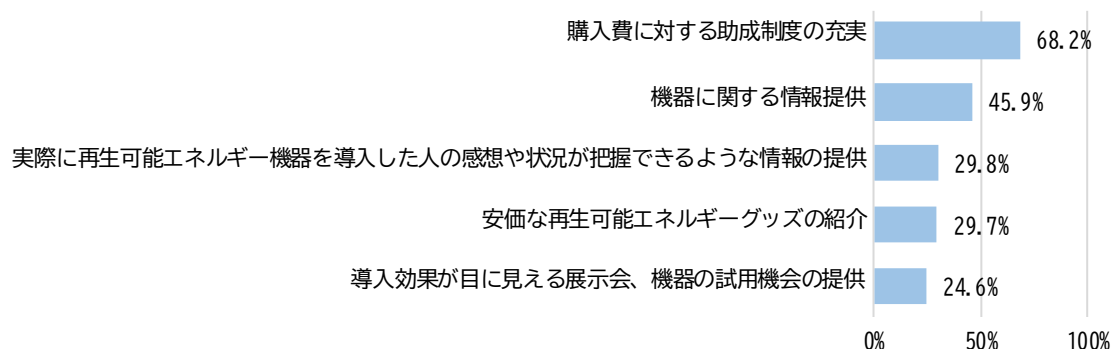
「⑥家庭用ヒートポンプ（エコキュートなど）」や「⑦住宅の高断熱化」は 2 割程度で導入・利用されています。

「①太陽光発電設備」や「④次世代自動車（プラグインハイブリッド車、電気自動車、燃料電池車）」は 10%未満の導入・利用率にとどまっていますが、約 4 割が「使いたいと思っている」と回答しています。



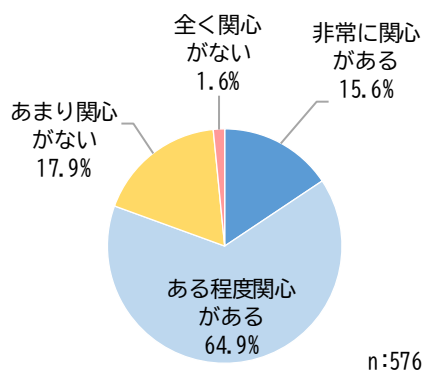
問 17 どのような条件が整えば、脱炭素化に関わる設備の利用をより前向きに考えられますか。（複数回答）

「購入費に対する助成制度の充実」が 68.2%と最も多く、次いで「機器に関する情報提供」が 45.9%となっています。



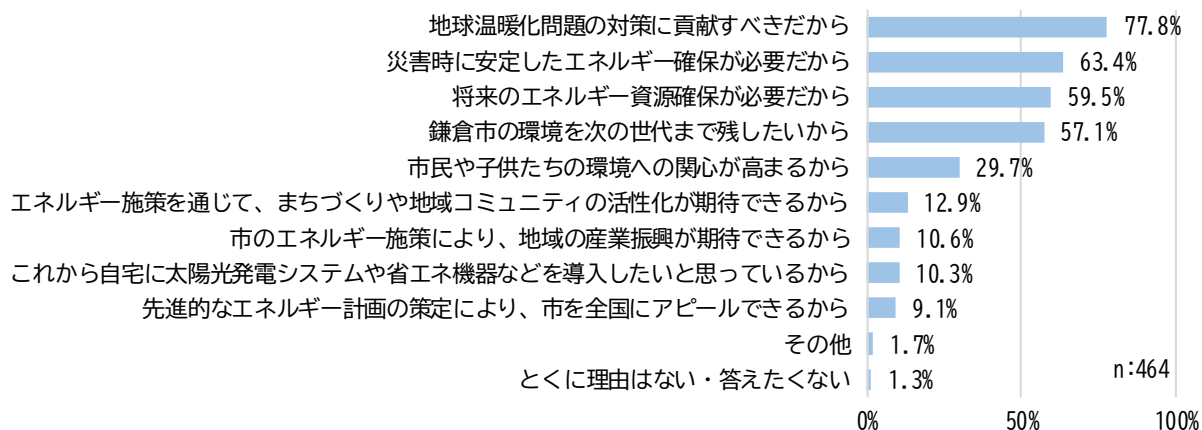
問 18 本市の脱炭素化やエネルギー問題とそれらの取り組みについて、関心がありますか。（単数回答）

脱炭素化やエネルギー問題とそれらの取り組みに「非常に関心がある」が 15.6%、「ある程度関心がある」が 64.9%と、合わせて 80.5%が関心を持っています。



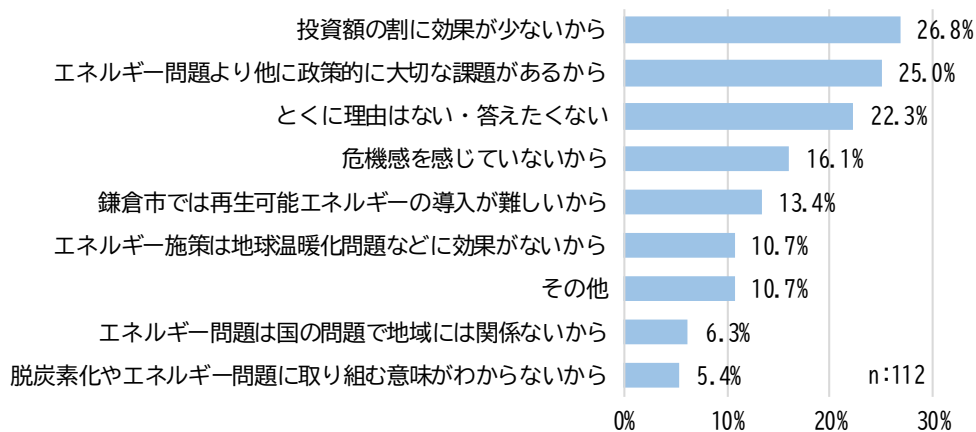
問 18-a 本市の脱炭素化やエネルギー問題に関心がある方にお聞きします。その理由を教えてください。(複数回答)

「地球温暖化問題の対策に貢献すべきだから」が77.8%と最も多く、次いで「災害時に安定したエネルギー確保が必要だから」が63.4%となっています。



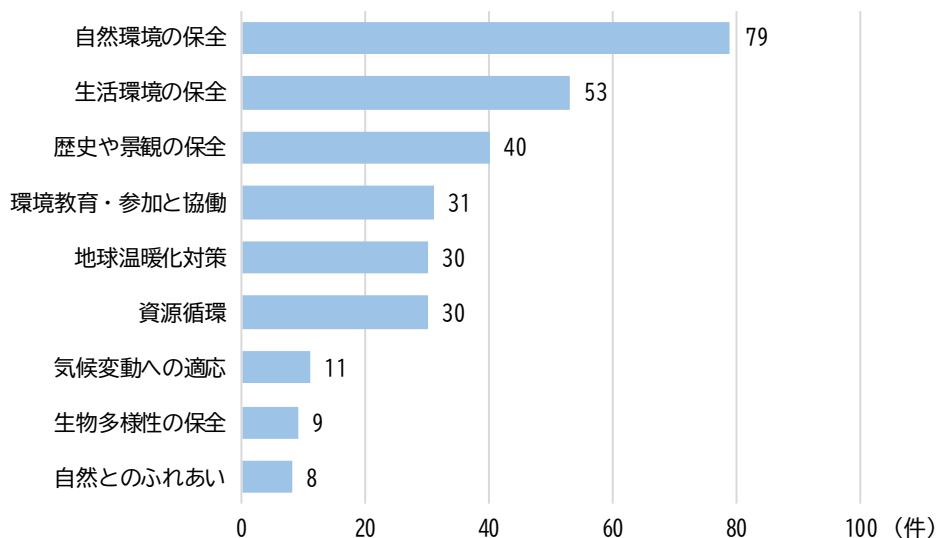
問 18-b 本市の脱炭素化やエネルギー問題に関心がない方にお聞きします。その理由を教えてください。(複数回答)

「投資額の割に効果が少ないから」が26.8%、「エネルギー問題より他に政策的に大切な課題があるから」が25.0%と多く回答されています。



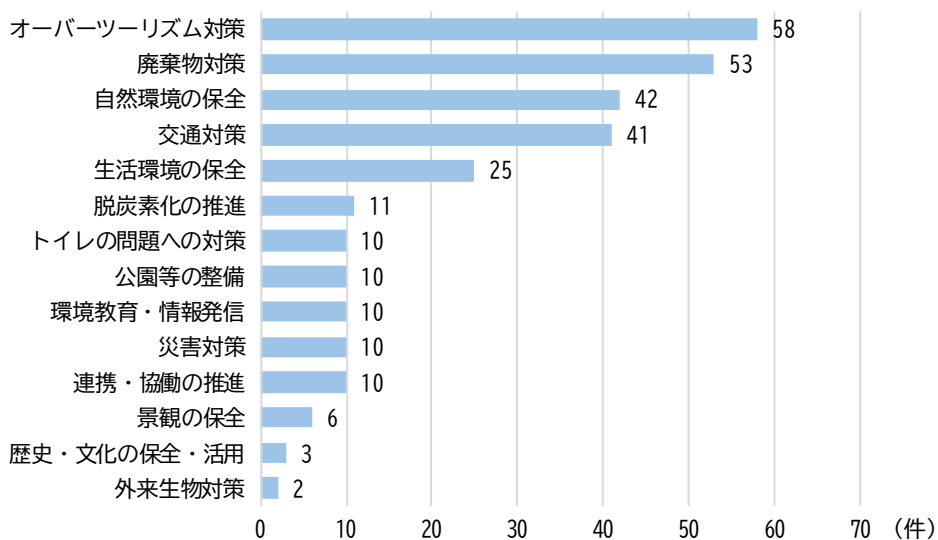
問 19 環境分野で、市が今後どのようなまちになるとよいと思いますか（自由回答）

自然環境の保全やオーバーツーリズム対策を含めた生活環境の保全、歴史や景観の保全についての期待や要望が多く回答されました。



問 20 市の環境について日頃感じていることなど、自由にご記入ください（自由回答）

オーバーツーリズム対策や戸別収集、処理施設等の廃棄物対策、自然環境の保全、道路整備や渋滞対策等の交通対策に関する意見や要望が多く回答されました。



問 21 「Liqlid」に参加して一緒に環境の未来を考えてみたいと思いますか。(単数回答)

「Liqlid」に参加して、環境基本計画の策定に「関わってみたいと思う」人は31.3%でした。

